

みやけの風

第 230 号

平成 17 年 (2005 年) 7 月 9 日 (土) 発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

7月7日、三宅村長谷川鴻前村長の告別式が、阿古小学校体育館で執り行われました。多くの方が参列し、別れを惜しんでおられました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

みんなの声

梅雨明けを待つ

雄山もすっぽりと霧につつまれ、室内は、じっとりとして、この時期は衛生面に気を使います。

陽気な私は、せめて気分転換をしようと曇り空を眺めていると、60代のおばさんにも夢があったのです。

砂浜を歩きたい!きれいな海水に足をつけて歩きたい!夫に申し出ると、「風間の日に大久保浜に連れて行くよ」の返事。

玄武岩質の黒い砂浜だけど、素足になってピチャピチャ歩いたら、弱っている私の左足も喜んで、ほんの少しでも機能回復につながるでしょう。

避難中に、いつ帰島が出来るのか展望が見えず、途方にくれていた4年半近くのことを思えば、三宅島にある豊かな自然を、もっと身近に楽しみたいと思うこのごろです。

7月6日記 (阿古 佐々木美代子)

白馬おじさんバンドIN三宅島

7月5日、「白馬おじさんバンド」が三宅島に来島しライブコンサートを行いました。おじさんバンドは避難中、小中学生のいる三宅島の若い家族を4回にわたって信州大町に招待してくださいました。「三宅島の人たちに

家族団らんのひと時を過ごしてもらおうやないか」とこの企画で招待された延べ人数は280名にもなります。その時の「帰島になったら、必ず三宅島に行くから。」との約束がついには実現したのです。

噴火によって故郷三宅島を追われ全島避難になったのち、家族のことで辛い思いをした人は少なくありません。バンドリーダーの中村さんは「俺たちはしたいことをしているだけで、いらなかったら言うてくれ」という調子ですが、公的な支援策では手の届きにくい「家族の絆」への支援は島の若い家族には何よりもありがたかったと覚えています。

今回の来島では大町でお世話になったお母さんがたが観光やバーベキューで歓迎し、三宅小学校で行われた夜のライブには90名もの参加者がありました。ライブには「三宅島ふるさとバンド」も参加し、あっという間の夢のような1時間30分でした。翌日は三宅保育園も訪問し、園児たちとおおいに盛り上がったそうです。

避難中に私たちは多くの人たちと出会いました。「出会いこそが財産だ」と改めて感じた2日間でした。

(三宅島社会福祉協議会 桑村 健司)

みやけの風現地センターから

今週は、島中で羽アリの大群が見られました。この時期の定番ともいえる羽アリの大群です。街灯のまわりにはブンブンと集まり、その下でカエルが待構える。5年前と変わらぬ自然の姿でした。この間、アリとカエルは変わることなくいたんだなあ～と思いました。

今、島の中では、三宅村による「宅地内の降灰除去作業」が進められています。昨日まであった土嚢袋が無くなっていくのをあちらこちらで見ることができます。作業が終わったお宅の方からは、「5年前の庭を思い出したよ」という声を聞きました。

一方で、これから島にお帰りになる方々からのお電話をいただくことが多くなりました。今月後半にかけてお帰りになれる皆さんにも、支援センターはお手伝いをさせていただこうと思っています。

7月8日 金曜日

(三宅島支援センター 現地事務局より)

アカコッコ館再開 2005年7月22日(金)に決定!

7月22日(金) 12:00 から一般入場可能になります

アカコッコ館が、噴火災害を乗り越え、約5年ぶりに活動を始めます。アカコッコ館では、子どもレンジャーが三宅島の魅力についてご案内します。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

オープン記念で22日は入館料が無料、来館された方には、記念品を贈呈します。(ただしなくなりしだい終了)また、オープン記念イベントを23日(土)に開催します。噴火を乗り越え新しい出発をするアカコッコ館に是非お越しください。なお7月22日は本館のみオープンします。ご了承ください。

7月のイベント情報**アカコッコ館オープン記念イベント 7/23(土)**

活動再開を記念して、森と海の観察会を開催します。森も海も観察にいい季節です!23日の観察会に参加してくださった方には記念品を贈呈します

森の観察会(大路池ネイチャーウォッチング)

時間:9:30~11:30 集合場所:アカコッコ館

海の観察会(長太郎池フィッシュウォッチング) 定員10名(要予約)

時間:14:00~16:00 集合場所:長太郎池駐車場 100円程度の保険料がかかります。

持ち物:マスク、フィン、スノーケル 対象:泳げる人(小学生以下は親同伴)

オーシャンセミナー 7/30日(土)

三宅島の海に潜れば、た~くさんの魚に出会えますね。三宅島の海の魅力について海辺の環境教育の第一人者海野義明さんからお話をさせていただきます。

時間:14:00~16:00 集合場所:アカコッコ館 講師:海野義明(アカコッコ館副館長)

イベントの問合せ、申し込みはアカコッコ館にお電話04994-6-0410ください。

「友の会」も活動を再開します!

「三宅島自然ふれあい友の会」はこの自然豊かな三宅島で1993年から活動を続けてきました。しかし、火山活動のため活動を4年数ヶ月の間中断しておりました。アカコッコ館の活動再開に合わせて、再開準備会を立ち上げて現在準備を進めています。今回、改めて会員を募集いたします。友の会の目的、活動の趣旨に賛同される方は是非会員になっていただいて、私たちと一緒に三宅島の自然を楽しみましょう!

【三宅島自然ふれあい友の会の目的】

三宅島自然ふれあい友の会は、三宅島の豊かな自然を愛し、自然とのふれあいを深めます。私たちは三宅島とその周辺海域をフィールドに活動の拠点を置き、自然観察などを通じて互いの交流を深め、自然から学んだ知恵を共有することによって、自然の保護と自然のふれあいによる環境教育・文化活動の輪を広げることを目的としています。

【友の会の主な活動】

- ・自然観察会の実施!(野鳥、海洋、植物、火山、天文...テーマはたくさんです)
- ・野鳥や魚の調査活動も行っています!

その他、勉強会、フェスティバル等の開催、機関誌「ちんちく」の発行や、アカコッコ館のイベントへの協力などサポート活動も行っています。

【会費】

- ・年額 1,000円 ただし高校生・学生は500円(中学生以下は無料)

会員はアカコッコ館の入館料が無料になります
(入館の際は会員に発行する会員証をご提示ください。)

入会の申し込みは、アカコッコ館のオープン(7月22日)以降、アカコッコ館にて直接お申し込みください。お申し込みいただいた方にはその場で仮会員証を発行します。本会員証は事務局から追って送付いたします。

また、活動の再開にあたって8月に再開総会を開催する予定です。内容や日程などの詳細は来月発行の「アカコッコ」もしくは、再開準備会から連絡いたします。